

第6回食育活動表彰 受賞者インタビュー

2022年6月7日発行

中国四国農政局

消費・安全部
消費生活課

(令和4年3月30日撮影)

農林水産省は、ボランティア活動、教育活動、農林漁業、食品製造・販売等その他の事業活動を通じた食育関係者の取組を対象として、その功績を称えるとともに、その取組の内容を広く国民に周知し、食育を推進する優れた取組が全国に展開されていくことを目的として、「食育活動表彰」を実施しています。

今回は、地域に伝わる郷土料理の普及啓発も含め、学校教育現場での食習慣や食文化の学習、伝承に取り組み、「第6回食育活動表彰」において消費・安全局長賞を受賞された島根県「吉賀町食生活改善推進協議会」の活動を御紹介します。

あの素晴らしい食のある故郷を体験 ～保育所⇒小・中学校⇒高校と継続して～ 吉賀町食生活改善推進協議会

吉賀町食生活改善推進協議会で、会長を務める三浦万利子さんにお話を伺いました。

農政局：貴会が普及啓発に取り組む「伝承料理」とは、どのような料理ですか。

三浦さん：この地域に伝わっている郷土料理です。秋祭りなどで振る舞われる家庭料理や、今でいうジビエ（猪）の猟師も多くいたことからジビエ料理の先駆けとなったものなどが多く、具体的には、角寿司、煮ごみ、猪肉の大根煮、ぼた餅などです。

農政局：当初、青壮年期、高齢期に対する食生活改善活動であったものが、学校教育での活動にまで広がった経緯を教えてください。

三浦さん：平成15年から中学校を卒業する生徒に「伝承料理」を教えることにより、学校とのつながりができました。

また、平成22年に「弁当の日＊」の講演会を聞き、子どもたちが生きる力をつけるためには、とても大切なことだと感じて、ある中学校の当時の養護教諭に力になっていただき、「弁当の日」を食生活改善推進員に取り組みさせて欲しいと校長先生にお願いに行きました。しかし、学校はとても忙しく、なかなか良い返事をいただけませんでした。

校長先生に何度も交渉し、やっと「弁当の日」について理解してもらえ、平成23年度から「弁当の日」を実施できることとなりました。一つの中学校から町内のほかの中学校にも広がっていき、今では町内の中学生の大切なスキルとなり、この「弁当の日」を糸口に学校教育での活動に広がっています。

*「弁当の日」は、子どもたちが自分で弁当をつくって学校に持参する取り組みで、2001年、香川県の小学校で当時の校長先生、竹下和男さんによって始められました。

角寿司
秋祭りでも
出される最も
ポピュラー
な料理



猪肉の大根煮
にんにくと唐
辛子が効いて
臭みが全くな
く、やわらか
い



伝承料理「猪肉の大根煮」にチャレンジ中

農政局：コロナ禍で工夫をされたことはありますか。

三浦さん：まずは、学校がどう考えているかを大切にしました。

学校と打ち合わせを行い、実施可能なものはできる限り実施しました。食生活改善推進員が出かける人数を今までより少なくしたりといった工夫をしました。出かけられないときは、資料だけでもと学校で配布していただきました。

農政局：活動を通じて、どのような成果や反響がありましたか。

三浦さん：食生活改善推進員に対するオファーが多くなりました。

保育所⇒小学校⇒中学校⇒高校と、町内で食に関する取り組みを継続する中で、吉賀町の魅力が食にあると気づく子どもたちも多くいることがわかりました。

また、子ども達も私たちの作るもの、私達と一緒に作ることを楽しみにしています。食を通してふるさとへの感謝の気持ちが生まれ、大人になってもこの町で暮らしたいという子ども達の声をよく聞くようになりました。そのような声が活動の励みになります。

農政局：今後の展開をお聞かせください。

三浦さん：コロナで活動が制限されますが、できることを会員で考え、継続することです。



中学校の食育スクール
一食分の弁当を作っています

吉賀高校での料理教室
一食分の食事を作ります



【お問い合わせ先】

中国四国農政局 消費・安全部 消費生活課

〒700-8532 岡山市北区下石井1-4-1

TEL (086) 224 - 9428 (直通) FAX(086) 224-4530

＜農政局HP＞ <http://www.maff.go.jp/chushi/index.html>